

月末までの2か月間で、申込件数が371人、金額が643万円、1人当たりの寄付額平均は1万7300円です。

議員 町に寄附していた

だいた方について、町内在住者と町外在住者の比率は。

地域創生課長 これまでのところ、町内の方は1件、町外の方が371件です。

子育て等支援について

議員 厚生労働省の人口

統計調査で、2014年に県内で生まれた子供の数は1万4522人で、過去最少となりました。特に下仁田町は、人口1000人に對する出生数は2・6人と県内の自治体で低い方から3番目で、人口減少に歯止めが掛からない。町で出生数を上げる対策は。

健康課長 出生率だけで

なく結婚の率も上げていかなければ、出生率を上げていくことができません。町長からも指示されており、出会い交流の場づくり実行委員会に任せるだけでなく、町でも考えてい

議員 町には空き

家がたくさんあります。町で空き家の持ち主と話し合い購入、リフォームして、町内外の若い子育て世代の人たちに住んでいただき、町の子供を増やしていただければありがたい。

きたいと思います。
議員 子育て支援について、新たな支援策を考えているか。

保健環境課長 本年度から遊具の整備と子育て応援教室、子育てイベントの開催を計画しております。また、妊婦治療費の助成については、2年を限度に実施しています。

教育課長 学校給食費の値上げ分を、本年4月から町の一般財源を充てて負担を軽減しています。

健康課長 平成27年4月から第2子目の保育料無料化及び障害児保育料無料化を実施しています。

介護保険制度について

議員 国では介護保険

サービスの一部移行について、2017年度までに段階的に市町村に移すと言っている。町も2017年度あるいは2019年度に移行すると聞いている。地区によって、介護する若い人たちが少なく、みんな要支援1・2になろうかという人



子育て応援教室「あそびの時間」

が増えていく。そういった対策は。

健康課長 サービスの内容容については、下仁田町介護予防、生活支援サービス連絡調整会議を立ち上げて、町の地域課題を把握し、必要なサービスを検討していきたいと考えています。

地方創生と行革について



岩崎 正春議員

議員 行政サービスを維持するため、必要な人口はどのくらいの目標値なのか。

町長 人口減少の歯止めを模索し、その一助として、大きな力となっていた、大きく副町長を選任させていた。今までの群馬県、下仁田を見る目、よそから見る目と、そして群馬県、下仁田に住んで、下仁田の良さを肌で感じていた。中から、町の特徴を活かせる、そんな施策を一日も早く提案をまとめ実行に移していきたい。

う数が計算できません。

町の出生率が1・11という数字がございますが、これを約1・4、これは、群馬県の平均値が1・41ですので、大体群馬県の平均値ぐらいまで持つていく必要があるかという単純な計算が成り立ちます。婚姻率がやはり県下でもワースト3に入るといことで、この婚姻率をまず上げること、この辺もポイントになってこようかと思えます。
議員 事業決裁のスピードアップを図るための制度改善はあるのか。また地域おこし協力隊員2名のほか追加して募集する予定はあるか。